

ジョイントコネクター 取扱説明書

■はじめに

この取扱説明書には、ジョイントコネクターの操作と安全な取扱方法が記載してあります。
ジョイントコネクターをご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■使用目的

給水・給湯や温水式床暖房等の配管に使用されるタケノコ形状の差込口を有する継手(金属及び樹脂)に、架橋ポリエチレン管を挿入する作業を行う工具です。

■仕様

品名	品番	全長	質量	挿入できるパイプの種類	パイプのサイズ
ジョイントコネクター	PJ-05	144mm	600g	架橋ポリエチレン管	7A・10A・13A

注)ポリブテン管、その他チューブ等は挿入できません。

※13Aのパイプについては別売りの13A用ライナ(品番 PJ0513L)が必要です。

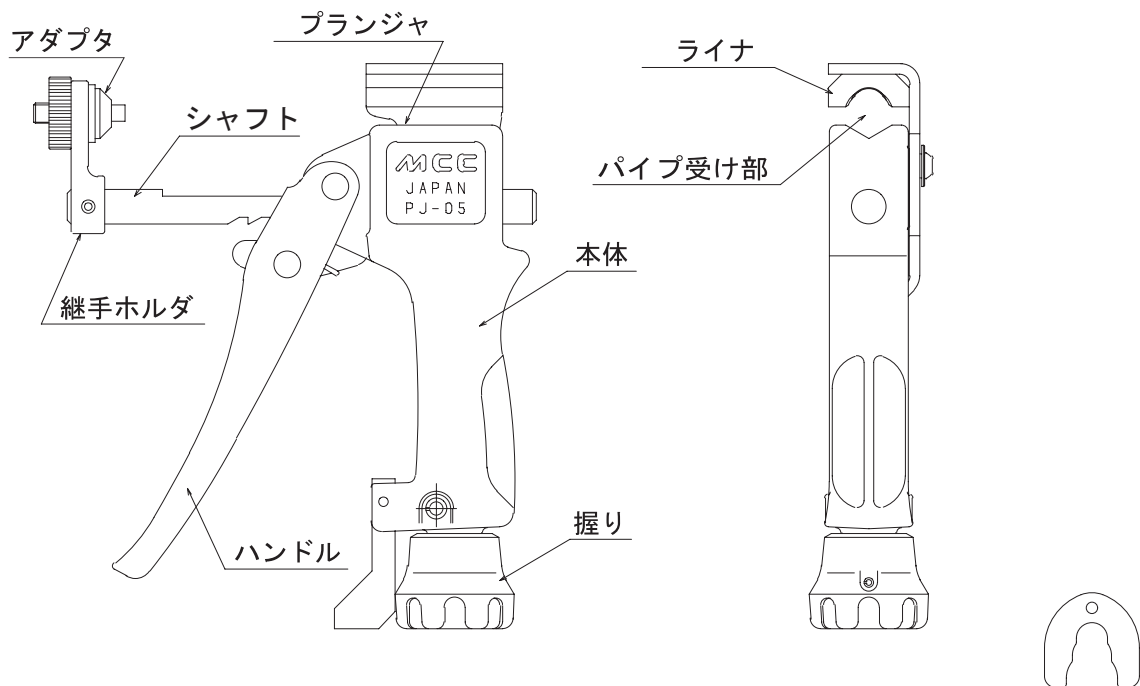
お買い求めになった販売店へ品番をご指定の上、ご注文ください。

■安全上のご注意

⚠ 注意

- ①この取扱説明書に記載された使用目的及び仕様の範囲内で使用してください。工具を改造したり、指定している対象材以外のパイプにご使用になると、工具の故障や思わぬ事故を誘発する恐れがあります。
- ②挿入しようとするパイプに土・砂などの異物が付着していると、工具が破損したり、漏れの原因となりますので、挿入の前にかみかきなどで拭きとってください。

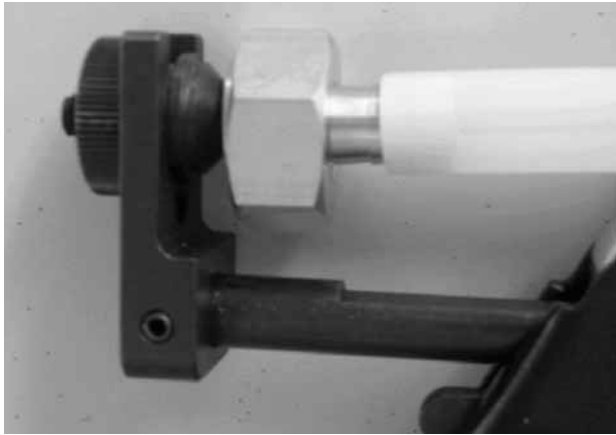
■各部の名称



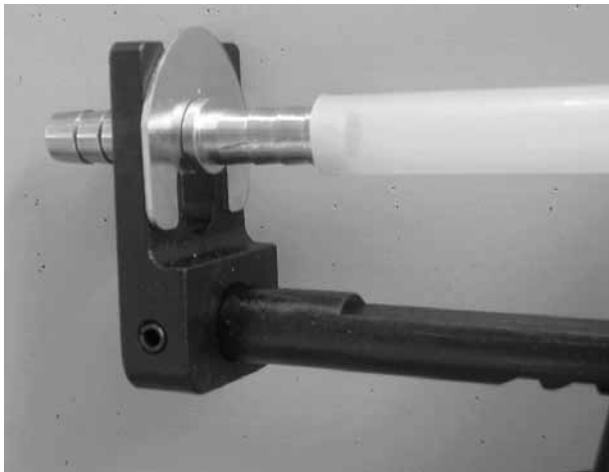
付属品：Mプレート

操作方法

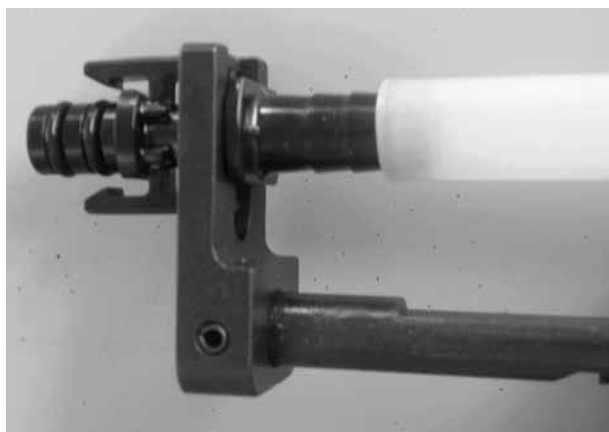
はじめに継手の形状を確認してください。形状により、付属のアダプタまたはMプレートを使用してください。
(図1～3)



(図1) アダプタを使用する場合(接続アダプタや金属ジョイント等に挿入する場合)



(図2) Mプレートを使用する場合(ソケットや樹脂分流チーズ等に挿入する場合)



(図3) 継手ホルダのみの場合(タケノコジョイントS型等に挿入する場合)

ハンドルを全開にし、シャフトの後ろを押し出して完全に押し出します。
本体の下の握りを左回りに回転させ、ライナと本体の間にパイプが入るようにライナをゆるめます。(図4)



(図4)

パイプにバンドを挿入し、ライナに干渉しない位置にセットします。
継手にパイプを軽く挿入し、パイプをライナと本体の受け部にセットします。
握りを右回りに回転させ、パイプをクランプします。(図5)
アダプタを使用する場合は、パイプと継手が水平になるようアダプタを上または下方向に調整し、継手をアダプタにセットします。(図1)
ソケット・分岐チーズ等、ツバがかからない場合はMプレートに継手にセットします。(図2)
タケノコジョイントS型等、継手のツバが継手ホルダにかかる場合は、ツバが継手ホルダにかかるようにセットします。(図3)



(図5)

パイプが継手の差込部(3段以上)に入るまでハンドルを繰り返し握ります。(この時パイプが滑って挿入できない場合は握りをさらに回しパイプをしっかりクランプしてください)(図6)

挿入が終わったら、握りを左回りに回転させ、パイプを本体とクランプから取り外します。
Mプレートを使用している場合は、継手からプレートを外します。



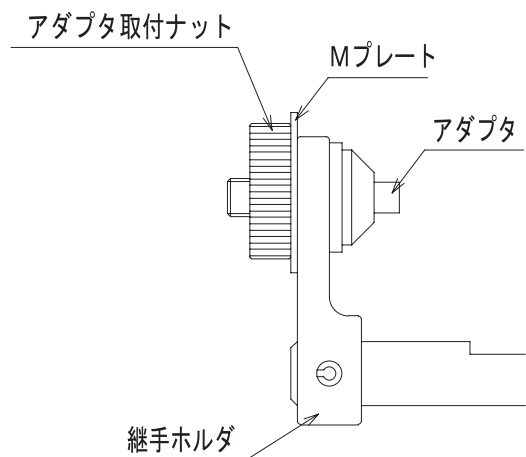
(図6)

※使用中にシャフトの送りが悪くなった場合は、本体のパイプ受け部のプランジャを増し締めして調整してください。(プランジャは軽く止まるところまで締めてから1/4回転緩めてください)

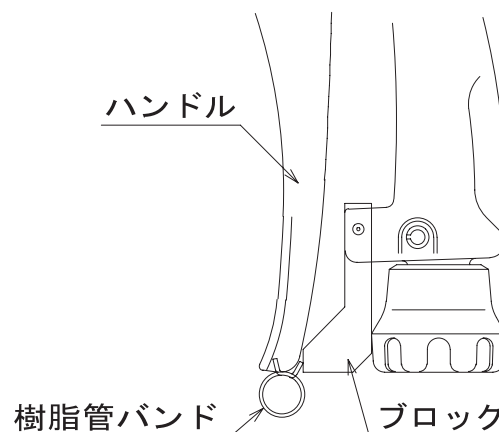
【注意】強く締めすぎるとプランジャが破損します。

※Mプレートを使わない時は、継手ホルダとアダプタ取付ナットの間にはさみ込んで収納してください。(図7)

※パイプを継手に挿入した後、本体に取りつけてあるブロックとハンドルの端部で樹脂管バンドをはさんで、挿入部にバンドをセットできます。(図8)



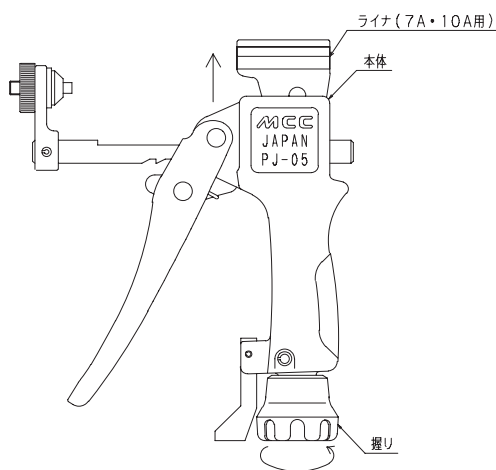
(図7)



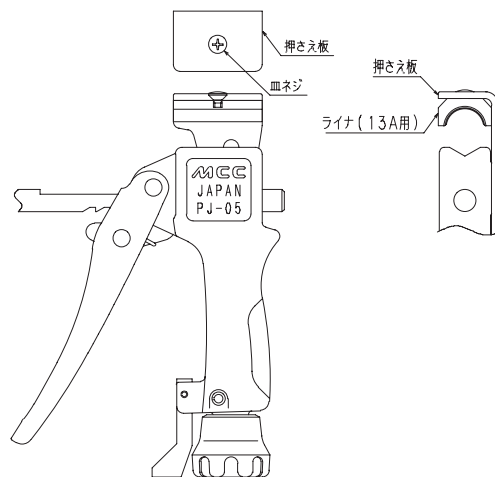
(図8)

■ライナ交換方法

- ①握りを左回りに回転させ、装着されているライナと本体を少し離してください。(図9)
- ②押さえ板とライナを固定している皿ネジを緩め外してください。(図10)
- ③装着させるライナを皿ネジで押さえ板と真っ直ぐになるよう取り付けてください。



(図9)



(図10)

株式会社 MCCコーポレーション
株式会社 松阪鉄工所

☎(059)234-2454
<http://www.mccc corp.co.jp>

210127